

令和7年4月23日
香川河川国道事務所

開通見通しのお知らせ

～国道11号 大内白鳥バイパス 東かがわ市伊座～白鳥が

令和9年度に開通します～

四国地方整備局香川河川国道事務所が整備を進めている、国道11号 大内白鳥バイパスについて、工事に必要な現道（国道11号）の車線切り回しが完了し、事業工程の見通しがついたことから、開通予定を公表します。

■国道11号 大内白鳥バイパスのうち、2.1km区間（東かがわ市伊座～白鳥）

【開通予定】 **令和9年度**

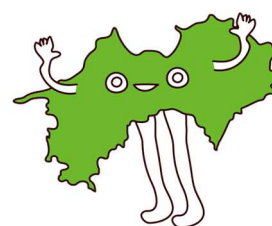
- ・今回の開通により期待される効果

整備効果：現道の渋滞緩和

- ・（参考）今後の開通によりさらに期待される効果

整備効果①：企業進出促進により地域産業の活性化を支援

整備効果②：通勤利便性向上による雇用機会の増加と定住化



「しこくん」

引き続き、早期開通に向け、事業を推進してまいります。

香川河川国道事務所ホームページ <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

X (旧Twitter) 情報 https://twitter.com/mlit_kagawa



ホームページ



X (旧 Twitter)

本施策は、四国圏広域地方計画【No. 5地域の自律的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】の取組および、WISNET2050の実現に向けた政策コンセプトに該当します。

【発表先】高松サポート記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所 TEL：087-821-1620（課直通）

副所長（道路）

横田 直紀（内線205）

○工務第二課長

阿部 浩之（内線411）

○：主な問い合わせ先



国道11号 大内白鳥バイパスの事業概要

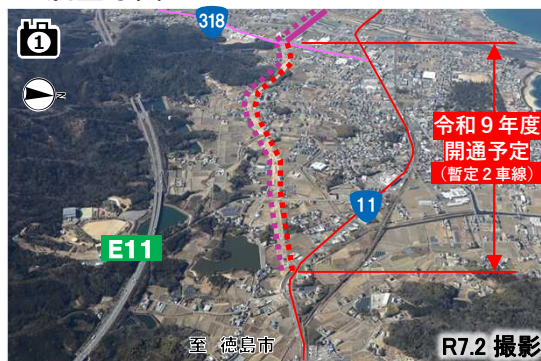
○国道11号大内白鳥バイパスは、東かがわ市中心部で発生している慢性的な渋滞の緩和や高松自動車道白鳥大内ICへのアクセス強化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とした事業です。

○このうち、**令和9年度に東かがわ市伊座～白鳥の2.1km区間が部分開通**します。

<位置図>



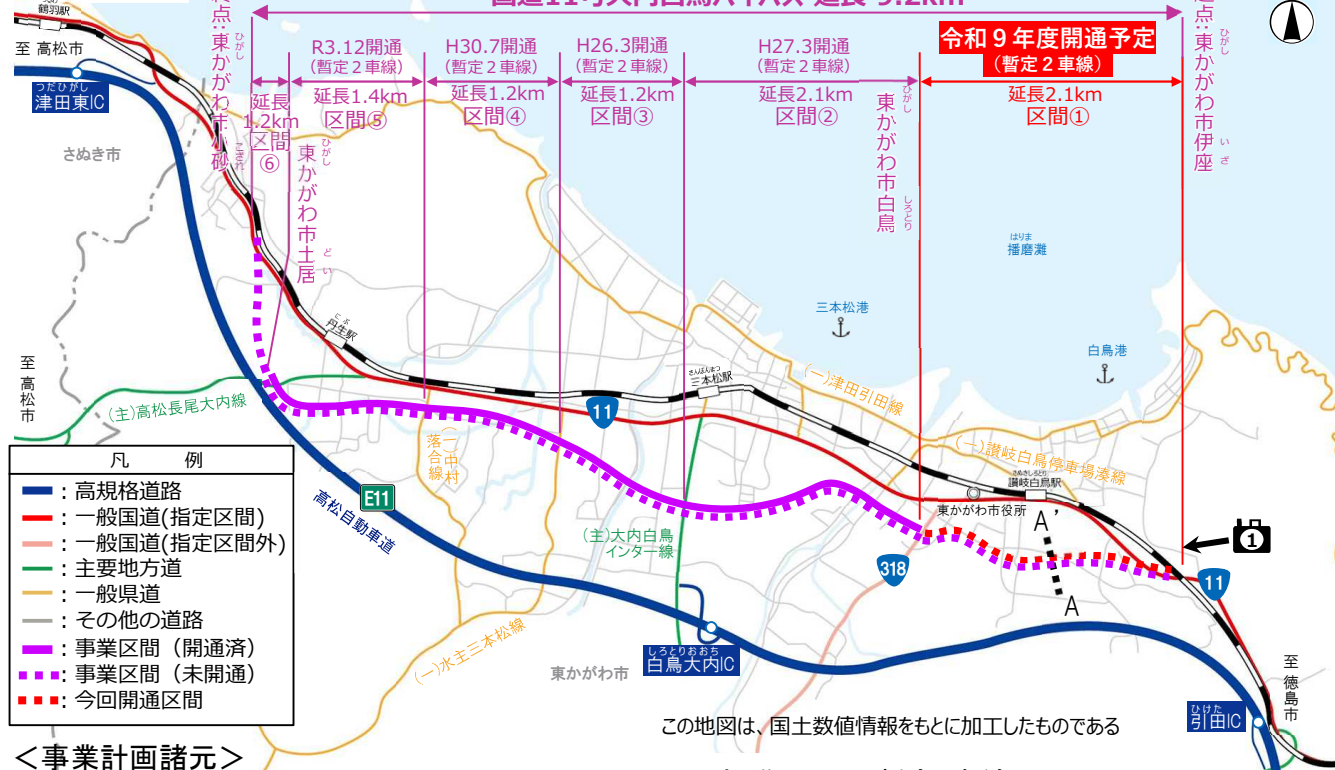
<航空写真>



<主な事業の経緯>

年度	内容
平成12年度	事業化
平成26年3月30日	区間③開通 延長1.2km
平成27年3月29日	区間②開通 延長2.1km
平成30年7月16日	区間④開通 延長1.2km
令和3年12月18日	区間⑤開通 延長1.4km

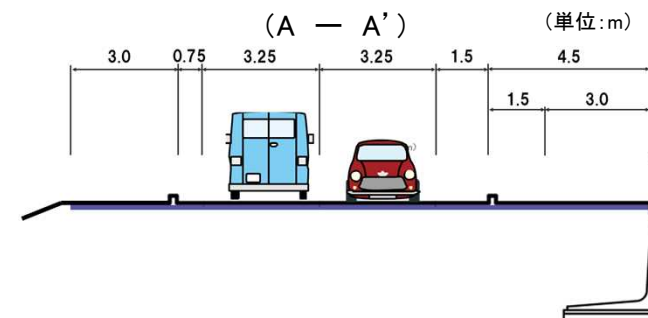
<平面図>



<事業計画諸元>

事業区間	香川県東かがわ市伊座	香川県東かがわ市小砂
計画延長	9.2km	
区間	①～⑤	⑥
構造規格	第4種第1級	第3種第2級
設計速度	60km/h	60km/h
車線数	4車線	2車線
標準幅員	29.0m	17.0m

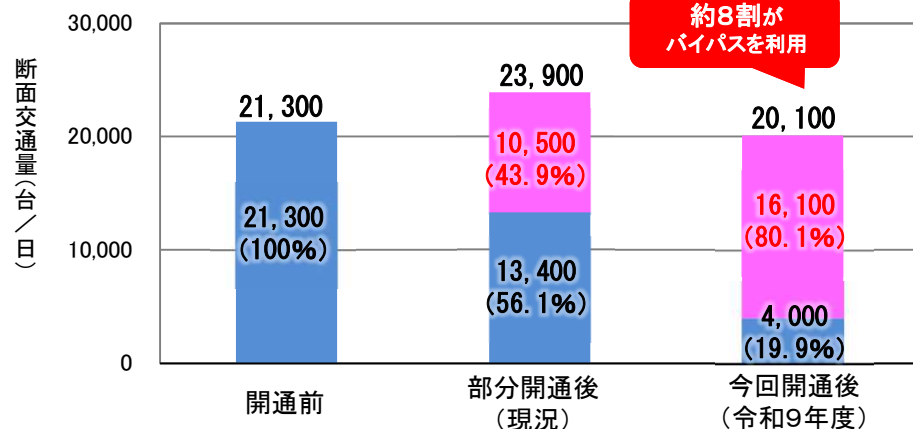
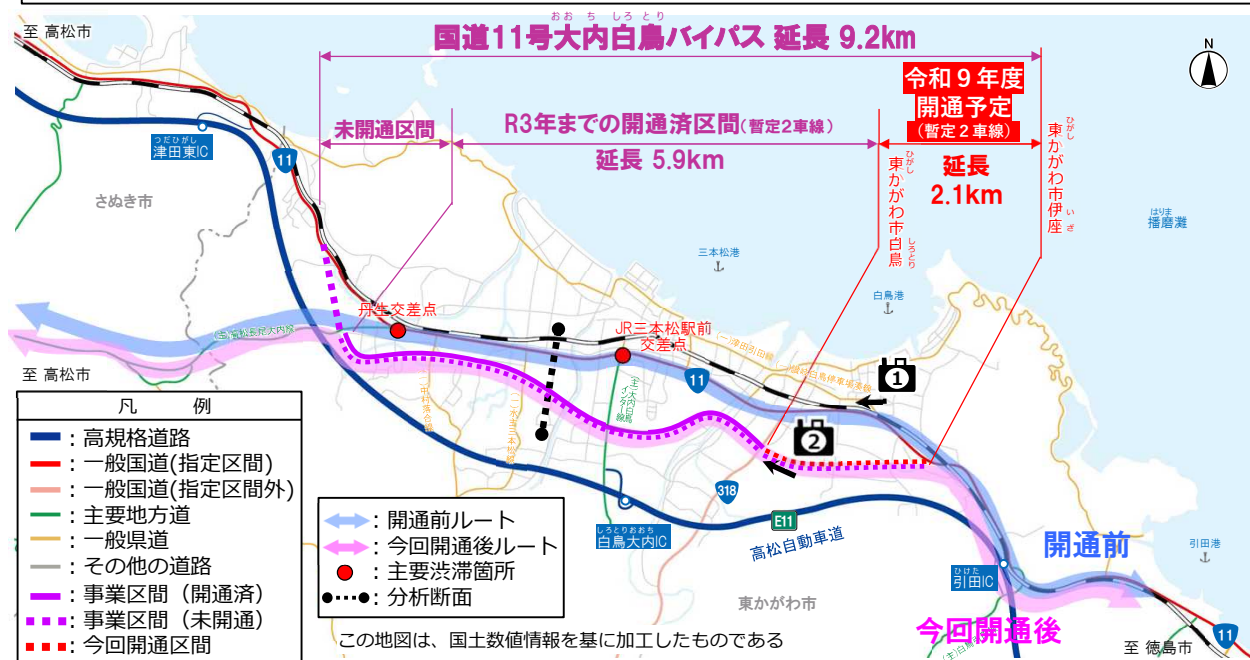
<標準断面図(暫定2車線)>



【整備効果】現道の渋滞緩和



- バイパスと並行する国道11号（現道）では、渋滞が発生し主要渋滞箇所が点在。
- 令和3年までの部分開通により、国道11号（現道）の交通が転換し、主要渋滞箇所周辺での混雑が緩和しているが、バイパス未開通区間に並行する国道11号（現道）などは、朝の通勤ラッシュ時間帯等に渋滞が発生。
- 大内白鳥バイパス（東かがわ市伊座～白鳥）の開通により、**更なる交通の転換が図られ、現道の混雑解消**が期待されます。



＜並行する国道11号(現道)の交通状況＞



＜国道318号との交差点部の交通状況＞



■ : 国道11号 ■ : 大内白鳥バイパス

資料:【開通前】国土交通省調べ H25.10.22(火)
【部分開通後】国土交通省調べ R4.12.20(火)
【今回開通後】将来交通量推計結果

(参考) 今後の開通によりさらに期待される効果 (1)



- 東かがわ市では、産業振興や地域活性化のため企業立地の促進や働きやすい環境づくりを支援。
- バイパス周辺では最初の開通以降、四国シェア 1 位を誇る企業など、工場や企業が 7 件新規立地。
- 今後の開通により、国道11号とバイパスが直結することで、東かがわ市内外へのアクセスが向上し、更なる企業立地の促進など地域産業の活性化が期待されます。



東かがわ市の地域創生総合戦略

基本目標 1 しごとをつくり、安心して働ける環境を創る

- **企業立地の促進**により、**新たな職場をつくる**
 - 地元産業の支援等イノベーションによる新しい価値を生み出すことでしごとをつくり、安心して働ける環境づくりを支援する
 - 戦略的な情報発信により、市の認知度向上を目指す
- ↓
- ・ 市内企業や新規進出企業に対する支援により、**労働生産性の向上**や**働く場所の確保**につなげる
⇒産業の支援(企業立地促進事業等)
 - ・ 観光戦略の強化等イノベーションにより新たな価値を生み出し、地域の魅力をしごとにつなげる
⇒地域ブランドの促進(食による地域活性化事業等)、観光振興、農林水産業の支援

基本目標 2 いつまでも住み続けたい希望をかなえる

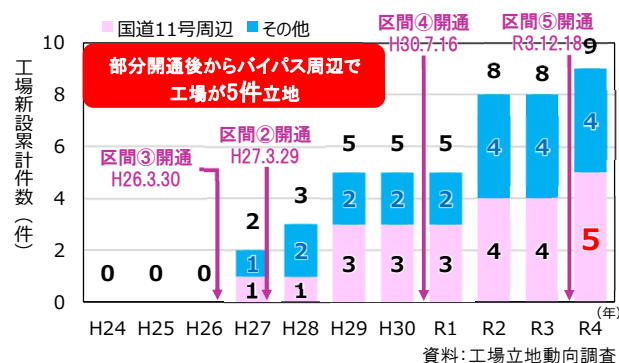
基本目標 3 愛される、安全・安心で暮らしやすい地域をともに創る

資料:【第2期】東かがわ市まち・ひと・しごと創生総合戦略(R6.3)

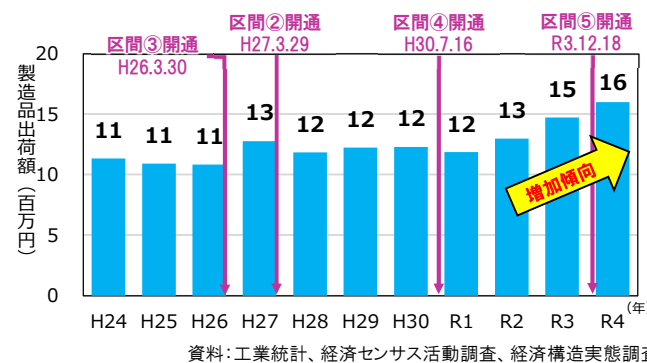
- 東かがわ市の声**
- ・ バイパスの整備により、現道沿いや周辺地域では配送センターや大型店舗等の土地開発が盛んに行われています。
 - ・ **工場等も多く立地してきており、新しい雇用の創出にもつながることを期待しています。**(R6.7ヒアリング調査)

- 周辺企業の声**
- ・ バイパス整備により**周辺道路の利便性が向上することや、多方面からの雇用が可能になることも視野に入れ、立地を検討しました。**(R5.3ヒアリング調査)
 - ・ 市内や周辺地域への輸送では**利便性の高いバイパスを利用することで、輸送時間の短縮や混雑緩和による乗務員のストレス軽減など、労働環境が改善されているため早期の全線開通を期待します。**(R6.7ヒアリング調査)

東かがわ市の工場新設状況



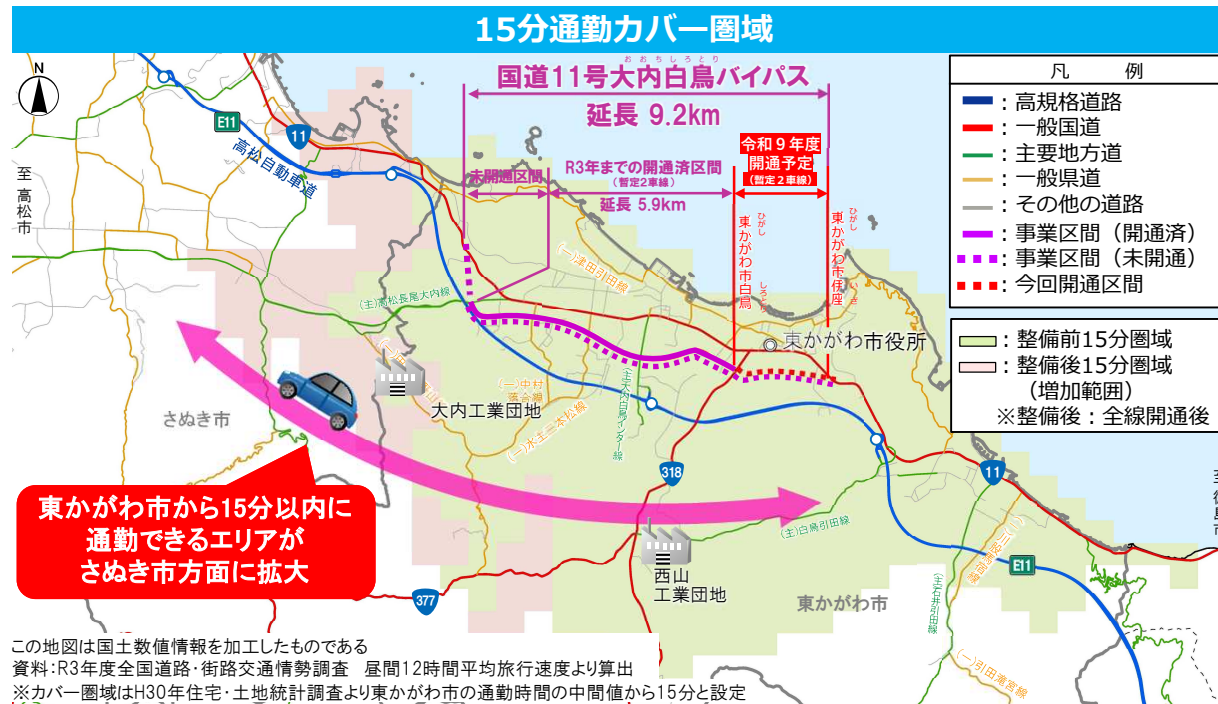
東かがわ市の製造品出荷額(製造業)



（参考）今後の開通によりさらに期待される効果（2）



- 東かがわ市では、人口流出対策として通勤通学時間や交通手段などの課題解決が必須。
- これまでの部分開通による効果として、約5割の住民が住みやすくなったと回答。
- 今後の開通により、東かがわ市内の通勤利便性向上による雇用機会の増加など、東かがわ市への移住・定住促進が期待されます。

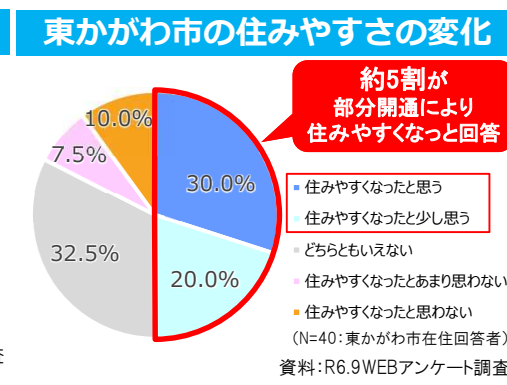
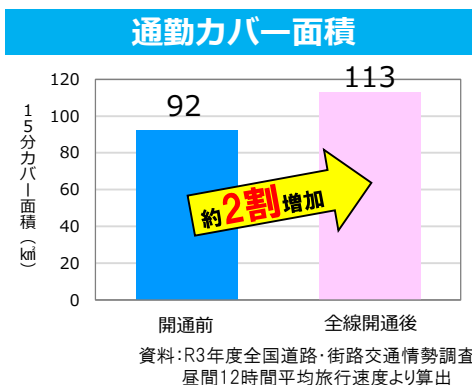
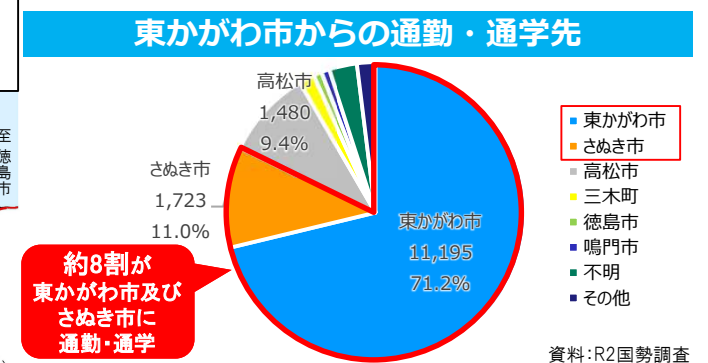


東かがわ市 市民アンケート調査

定住理由
- 公園の整備など充実した子育て環境 - 防災や防犯等満足度の高い安全、安心な生活環境
転出理由
- 通勤通学時の地域公共交通の不便 - 通勤通学時間を含む就学、仕事環境への不満

人口流出対策として通勤通学における課題の解決が必須

資料：東かがわ市人口ビジョン(R6.3)



公共職業安定所の声

- バイパス利用により通勤利便性が向上したことで、**就業先の候補となるエリアが高松市方面へ拡大**されてきています。
- 全線開通により引田方面への利便性が向上することで、**徳島方面も就業先の候補**となり、**求職者の選択肢が増加**することが期待できます。

(R6.7ヒアリング調査)

道路利用者の声

- 通勤時はいつも早めに出ていましたが、バイパスの部分開通により**現道の混雑が解消**されたため、**時間に余裕をもって動けるようになりました**。【さぬき市在住 20代 女性】
- 通勤時間の混雑が解消されることで、**交通手段として自動車を選択**できるようになり、**勤務地の選択肢が増加**することに期待しています。【東かがわ市在住 30代 男性】

(R6.9WEBアンケート調査)